

株主の皆様へ



2

株主通信
2011年
春号

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、この度の東日本大震災により被災された株主の皆様には謹んでお見舞い申し上げるとともに、被災地の一員も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2011年3月期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の連結業績の概要をご高覧いただくにあたり、ご挨拶申し上げます。当期は、より強い成長の実現を目指した『経営方針<09-10>』の2年目として、私たちはこの1年を「成長軌道への転換点」と位置付け、「攻めの経営」へ舵を切りました。そしてこの方針のもと、主要事業分野において新製品投入や販売体制の整備、また生産能力の増強等を積極的に行いました。当期の連結業績は、為替の円高影響などから減収減益を余儀なくされ、売上高は前期比3.3%減の7,779億円、営業利益は同9.0%減の400億円となりましたが、これらの施策の結果、情報機器事業ではグローバルベースでの大口顧客からの受注獲得やサービス事業拡大のための施策の進展、また各事業においてアジア市場での売上が伸長するなど、今後の当社グループの成長に向けての手応えを充分に感じております。

当社グループは、本年4月、将来にわたって持続した成長の実現に力点を置き、「Growth(成長)」をキーワードとして中期経営計画「Gプラン2013」をスタートさせました。2011年度から2013年度の3カ年の取り組みの基本方針は、1)成長の実現による規模の拡大、2)真のグローバル企業への進化、3)コニカミノルタブランドの認知度向上、の3点であります。

この度の震災が当社グループに与えた直接的な被害は軽微ではありましたが、当該震災に起因するサプライチェーンの混乱や電力供給制限など、今後の事業活動に与える影響が懸念されます。しかしながら、それらの影響をグループ一丸となって乗り越え、「Gプラン2013」の諸施策を確実に成果に繋げ、“力強く成長を続け、社会から必要とされる企業”の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2011年5月

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 松崎 正年